



からくりで、ポンとはじいたGDP！

2019年1～3月のGDP速報値(朝日新聞2019.5.21)			
国内消費	民需	+) 個人消費	-0.1%
		+) 住宅投資	+1.1%
		+) 企業投資	-0.3%
		+) 民間在庫	+0.1%
	政府等の支出	+) 公共投資	+1.5%
海外関係	+) 輸出	-2.4%	
	-) 輸入	-4.5%	
年率の実質成長率			+2.1%

GDP(国内総生産)の今年の1～3月の速報値が+2・1%と発表された。こんなに景気が悪いのになんかどうして?

GDPの計算方法

国内の総生産に付加価値を表すのがGDP。各企業の付加価値を合計すれば良いように思うが、ことは複雑。

農家がトマトを一個百円で売り、店がジュースにして三百円で売ったら、店の付加価値は二百円。GDPには農家が売った百円と、店の付加価値が計上される。結局GDPは消費支出の合計になる。個人消費、企業設備投資、政府の公共投資が国内消費となる。生産品の一部は輸出。消費した輸入品は国内生産ではないから、輸出から輸入を差し引いた分が国内消費分。景気が悪くて輸入が減るとGDPが増加したかに見える。

ここで見るべき事は個人消費や企業投資の減。統計の対象を恣意的に選択すると、統計不正のようなことも入り得る。あなたはどう思われますか?

杉並障害者福祉会館

東京都杉並区高井戸東

二〇一九年五月



杉並区には「障害者福祉会館」というものがあった。教室、講習会、施設提供の事業を行っている施設。

この日はダウン症児の為に水道方式に基づく算数教室が行われていた。

一、二、三と数えることと、一個分の量、二個分の量、三個分の量を理解することは別で、量として理解することが、その後の大きい数を理解し、計算する力をつける上で大切だと云う。

「障害者福祉会館」と云う名前は横浜在住の私にはなじみのない名前。そこで横浜市障害者福祉センターに問い合わせたら、教室、講習会、施設提供の事業を併せて行っている施設はないが、各事業を行う施設は色々あることを、教えていただいた。

